

◆チェックシート【飲酒運転】

○ 飲酒（運転）に関する知識は十分に持っている。	
・飲酒運転は法令違反であり、人の生命を奪いかねない極めて悪質な行為であることを理解している。	
・酒に強い人でも、飲酒初期から判断力が鈍ることを理解している。	
・呼気中アルコール濃度が0.15mg/L未満であっても、酒気を帯びて車をしてはならないことを理解している。	
・自転車も飲酒運転となり、責任を問われることを理解している。	
・飲酒運転のほう助も、飲酒運転と同等の罪に問われることを理解している。	
・飲酒運転は、免職又は停職となることを理解している。	
○ 飲酒運転をしない（させない）ために、十分気を付けている。	
・飲酒をする場合は、会場に自家用車で行かない。	
・たとえ微量であっても、飲酒したら絶対に車を運転しない。	
・翌日の運転時間や体調に合わせて、飲酒の時間や量を自己管理している。	
・車で来ている人には、帰宅方法の確認をしてから酒を勧める。	
・飲酒後、同僚や知人が車で帰るかもしれないと思ったら、絶対に引き止める。	
・飲酒した翌日の運転など、体内のアルコールが分解されているか確信が持てない場合には運転前にアルコールチェッカーを使用するなど、具体的な防止策を講じている。	
○ 職場の宴会の際には、飲酒運転防止の具体的な対策をしている。	
・交通手段の確認やハンドルキーパーの確保など、事前準備を行っている。	
・飲酒前後に、管理職や幹事による注意喚起が必ず行われている。	
・解散時の声かけや、管理職や幹事による帰宅方法の最終確認を行っている。	